

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	－	－	－
	やや良く なっている	百貨店（営業企 画）	販売量の動き	・当地区では旧盆のズレで中元ギフトの動向については判断が難しいが、7、8月の累計では前年並みで推移している。今月前半は衣料品の動向が好調となっていたが、後半は台風で臨時休業となり、その影響で厳しい結果となっている。しかし、天候要因を除くと、傾向的には良い方向に向かっていると判断している。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・新商品の発売と販売価格の割引により販売量が前年比130%と増加している。消費者が価格に敏感であることがうかがえる。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・個人客の来客数が増加している。LCCの影響もあるとみている。また、外国客が増加している。ただし台風の影響でクルーズ船が8月は1回も無かった。もし台風が無ければ、大幅に前年、前々年を上回っていたと見込む。
	住宅販売会社 （代表取締役）	販売量の動き	・住宅、賃貸住宅、店舗等の建築工事に関する受注契約が増加している。	
変わらない		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・売上高、来店客数共に2～3か月前と比べて大きな差はなく、景気は横ばいの見込みである。
		スーパー（販売 企画担当）	販売量の動き	・野菜や魚類など生鮮食品の動きが悪い。旧盆用の贈答品の動きも悪い。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・中国等の旅行客が増えているが、単価の低い沖縄そば等のカップ麺類がよく売れている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数が前年比110%で推移している。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・夏休みも終盤になり、少し来客数が減ってきている。それと今年は週末の稼ぎ時に台風に当たる事が多く困っている。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・観光客数では増えているが、売上は伸び悩んでいる。本土からの観光客や地元の客は徐々に来店は増えてきているが、価格競争や不景気感から売れるのは単価の安い商品が多い。また地元の情報が十分に伝わっていないため、外国人は大型店やドラッグストアだけに向かい、地域の商店街は表を通行するだけになっている。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	来客数の動き	・稼働率の前年同月比上昇幅は3か月前とほぼ同様である。ただ今月は台風の影響を受け、当初の予測より販売量を落としている。
		ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・基本的に単価自体は全然変化が無く、そのまま変わらないとみる。
	住宅販売会社 （総務・企画分 野）	お客様の様子	・前月と比較すると、住宅展示棟などへの来場客数は減少しているが、商談内容の進捗は悪くはなっていない。契約実績も営業担当によるばら付きはあるが、前月と同等程度にできている。	
やや悪く なっている		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・月前半と後半の台風により、安定した物流供給ができず、売上高に影響している。特に後半の台風は一時休業もあり売上を大きく損ねている。例えば雑誌の納品も遅延や不定期となり、客離れに拍車をかけている。
		その他専門店 〔書籍〕（店 長）	販売量の動き	・売上高の前年比は、3か月前から毎月、若干ではあるが下がっている。特に今月はひどく、今年に入って一番の下げ幅となっている。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	お客様の様子	・8月は12月に次いで売上の上がる月である。ぎりぎり例年並みで推移していたが、台風15号の影響で観光客の予約キャンセル、営業日の減少、生鮮物の値上がりと、一気に厳しい状態になっている。
		その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・8月の予約状況は、前年同月を若干上回って推移していたが、2度の台風接近で2千件近いキャンセルが出て、厳しい状況になっている。

	悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・街中の観光客数は少し増えているが、この不景気で財布のひもが固くて消費額が減少している。また、地元客に関しては、やはり大型店の影響で客の分散化が徐々に起こっている可能性がある。商店街は対応の悪さで大型店に客が取られている印象がある。
企業動向関連	良くなっている	輸送業（本社事業本部）	受注量や販売量の動き	・例年夏場は飲料関係の取扱量が増加する。併せて旧盆商品の取扱によりボリュームが増え、更には省エネ家電商品、特にエアコンの売上が好調に推移していることもあり業務量が増加している。
(沖縄)	やや良くなっている	食料品製造業（管理部門）	受注量や販売量の動き	・前年の旧盆商戦より売上が伸びている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は前年より減少し、民間工事は住宅及び賃貸住宅建築の継続により前年よりやや増加しているが、全体ではやや減少となっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の契約棟数が横ばい状態である。
	悪くなっている	通信業（営業担当）	取引先の様子	・契約単価も特に増減が無く、契約案件も適度に確保できている。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・小売先からの単価引下げや、返品等に関する条件は厳しいままである。取引先の景況は改善しているとは感じられない。
	悪くなっている	—	—	—
雇用関連	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・接客業、販売業を中心に、受注案件が増えてきている。
		求人情報誌制作会社（営業担当）	求人数の動き	・今は時期的に応募等も少なくなる時期だが、掲載数等も前年より良くなっている。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月に比べ増えている状況にあるが、ここ数か月の水準を考慮すると、景気が一気に上向いているとまでは判断できない。
	やや悪くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・中小企業から、「経験者で即戦力になる人材求む」という求人情報が飛び込んでくる。人材不足で困っているが、新卒を採用して育てる余裕と時間は無いということである。目先の事情に追われている感が否めない。
	悪くなっている	—	—	—